

I-2. 大衆消費社会の「かわいい」文化

平成の世もすでに 20 年以上を数えた現代、いわゆる「kawaii (カワイイ)」という視点から、内藤ルネやその先輩格にあたる中原淳一といった戦後のイラストレーターたちにあらためてスポットがあたっています。描かれたイメージの愛らしさとともに、少女たちのライフスタイルへの提言がみられるのもおもしろいところです。

また、上述の内藤ルネや水森亜土の完成度の高いプロダクト(商品)と並行するように大ブームを巻き起こしたのが『りぼん』『なかよし』といった少女雑誌の付録でした。原作漫画のストーリーから少女キャラクターの魅力を切り出し、便箋や文房具などのかたちをとって前面に押し出した付録は、大正・昭和の少女雑誌文化と現在のキャラ文化を橋渡しするような存在だといえるでしょう。また、描かれたキャラクターの服装や行動といったライフスタイルもやはり多くの読者の共感を集めました。

美少女の
美術史

～憧れと幻想に彩られた私たちの偶像～

美少女な
わんないな
じゃけてる
じわんないな